

今季のスギ花粉情報（第1報）

身近な自然と診療メモ

(2/1/2024)

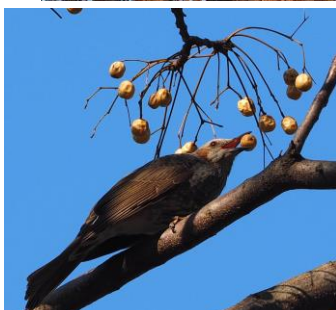
今年は例年より暖冬で比較的過ごしやすいですが、コロナ感染また徐々に増えている傾向です。今年のスギ花粉飛散は昨年より少ないといわれていますが、入間のスギの雄花は大量に着花しています。青梅では少し飛散が始まっているようです。2月2週からスギ花粉飛散が予想されておりますので、スギ花粉対策をしてください。



(入間のスギの雄花
2024/1/28)



(入間のスギの雄花
2024/1/28)



(梅檀の実を食べるヒヨドリ
善福寺公園 2024/1/31)



(善福寺公園では白梅が見ごろで紅梅も咲きました。2024/1/31)



- ・インフルエンザの患者さんは少なくなってきましたが、発熱のどの痛い人の中にコロナ感染の患者さんが増えているようです。
- ・現在寒暖差アレルギーによると考えられる朝の鼻症状（水様性鼻漏、鼻閉）がよくみられます。また鼻のしきいの鼻中隔が乾燥して鼻血がしやすい患者さんも多いです。
- ・スギ花粉対策として予防的にステロイド点鼻、抗アレルギー剤を内服されるのがよいでしょう。乾燥している鼻、出血しやすいびらんのある症例にはインタール（クロモグリク酸ナトリウム）点鼻も有効です。

(山口内科耳鼻咽喉科 2/1/2024)